



# とらいあんぐる



2016 年 4 月

一音会ミュージックスクール発行

## 「ビデオレター」

前号「別れ」で、私にとって印象的な別れのエピソードを紹介させていただきました。

小学校の担任の先生が、自分の生徒たちが新しい一歩をふみだすために、あえて自分の存在を消す努力をした話でした。

私がこの話にひかれるのは、自分の感情よりも、別れる相手のことを第一に思う、その気持ちがすてきだと思ったからです。

前号で、別れにまつわる印象深い話が2つあると書きました。今回は、もう1つのほうの話をご紹介します。

その話もまた、大切な人とのお別れで、相手を思いやる人の話です。しかしその話は、「すてき」といってしまえる話ではありません。

私が直接、経験したことではないにもかかわらず、長い間ずっと、私の心に深く刻まれている話です。

それは、ある若いお母さんの話です。

そのお母さんは、別れを前に苦しんでいます。

最愛の子どもと別れなくてははいけ  
ないからです。子どもはまだ幼く、誰よ  
りもお母さんを必要としていました。

しかも、その別れは永遠でした。

お母さんは、自分が病におかされ、  
残された時間が少ないことを知ります。

まもなく来る、子どもとの別れを考  
え、苦しみました。

そのお母さんは、子どものために、  
ビデオレターを作ることに決めました。  
子どもに伝えたいことを、動画でのこ  
そうと思ったのです。

そうすれば、自分の姿も、自分の声  
も、そのまま子どもに伝えることがで  
きます。



子どもは、好きなときに、それを再  
生することができます。たとえその子  
が大人になっても。

お母さんは、ビデオレターのタイト  
ルを「ママがいなくなった日に」と、  
つけました。

自分がこの世を去ったときに観てほ  
しい、という意味です。

そのビデオレターの中でお母さんは、  
カメラにむかって、にっこりとほほえ  
みかけます。

「ママは、目に見えないけれど、い  
つも〇〇ちゃんのそばにいるのよ。い  
つも〇〇ちゃんのことを、見ているの。  
いつも〇〇ちゃんといっしょよ。ママ  
は、ここにいる。だいじょうぶ。心配  
しないで。見えないからって、さびし  
く思うことなんてないわ。今までと  
かわらない。だいじょうぶ。どうか泣  
かないでね」

お母さんは、自分が泣きたいのをこ  
らえ、ママがいなくなって動揺してい  
る子どもをなだめるために、くりかえ

しくりかえし、「ママは、いつもそばにいる」、「悲しまないで」と、メッセージをおくります。

それを観た子どもが、少しでも気持ちを落ち着けることができるよう、やさしい表情とやさしい声で、懸命に言葉をつなぎます。

その愛情の深さに、涙が出ます。

しかし、私が本当に驚いたのは、ここからなのです。

なんとそのお母さんは、もう1本、ビデオレターを作るのです。

そのタイトルは、「あたらしいママがきた日に」です。

お父さんが再婚をし、新しいお母さんが来ることになった日に観てほしい、という動画なのです。

先のビデオレターでは、お母さんは終始やさしくほほえんでいましたが、今度は真顔です。表情はおだやかですが、笑ってはいません。どこか淡々としています。

「新しいお母さんが来ることになっ

て、とてもうれしいわ。これは本当の気持ちなの。新しいお母さんと仲良くすると、私に悪いとか、そんなことを思っては、絶対にダメよ」

お母さんは、まばたきもせず、カメラを見つめます。真剣な表情です。

「私は、〇〇ちゃんと新しいお母さんには、うんと仲良くなってもらいたい。本当よ。新しいお母さんを、本当のお母さんだと思ってちょうだい。

いっぱい仲良くしてちょうだい。いっぱい甘えてちょうだい。いっぱいやさしくしてあげてちょうだい。いっぱいお手伝いしてちょうだい。いっしょにいろいろなところに行って、いっしょにいろいろなものを食べて、いっしょに楽しいことをいっぱいして・・・」

お母さんの口調は、熱をおびてきます。

お母さん自身が、果たせなかったことを、そしてこの世で一番したかったことを口にするのは、どんなにかつらいだろうと思います。

そしてお母さんは、最後に驚きの一言をいうのです。

「・・・できることなら・・・私のことを忘れてちょうだい・・・」

いい終わって、はじめてお母さんは、にっこり笑います。

「さようなら」

はっきりとした口調で、カメラにむかって大きく手をふります。

ビデオレターは、そこで終わります。私は月並みな母親ですので、私がそのお母さんの立場だったら、「ママのことを忘れないで」などと口走ってしまいそうです。

しかし、死んだママのことを忘れら

れない子どもが、新しいお母さんを受け入れるのに、どれだけ苦しむか、想像すれば分かります。

そのお母さんは、そこまでも見すえ、2本目のビデオレターを作ったのでした。

そのお母さんの強さと先見性と愛情深さ、何もかもに、圧倒されるばかりです。

人間は、かくも強くなれるのか、と思います。

人を強くするのは、自分より大切なその人の幸せを、ただただ願う、深い愛情なのかもしれません。

(江口 彩子)



プリドノフ先生ご夫妻

ピアノ・リサイタル

2016年 5月14日(土)

14:30開場 15:00開演

2台のピアノのための組曲	A. アレンスキー
3つのアンダルシア舞曲	M. インファンテ
へびの口づけ	W. ボルコム
組曲『惑星』より火星・木星	G. ホルスト
組曲 第1番	S. ラフマニノフ

### ◆「ジュニコン・オーディション」にご参加ください

「第11回ジュニアコンサート・オーディション」を開催します。生徒さんの、音楽性、実力、将来性、すべてを総合的に評価する審査となります。

以下が、エントリーの要綱です。

- ① 「ジュニコン・オーディション」は、「ひびきホール」でおこない、公開とします。たくさんの生徒さんにオーディションをきいて、学んでもらいたいと願っています。
- ② 曲目は自由ですが、演奏時間は6分～12分程度とします。組曲や変奏曲の抜粋、ソナタの楽章の抜粋、短い曲を何曲か組み合わせることはかまいません。6分～12分は目安です。多少オーバーしてもかまいません。
- ③ エントリー資格者は、2016年4月時点で、小学4年生～高校3年生の、一音会に在籍する生徒さんです。

- ④ エントリーするための費用は15000円です。これは全額、審査員の先生ご夫妻や通訳者へのお礼にあてられます。もし、選ばれて「ジュニア・コンサート」に出演することになったら、コンサート出演費用5000円が必要になります。
- ⑤ 「ジュニア・コンサート」は、6月3日（金）夕方、「ゆめりあホール」（西武池袋線・大泉学園駅前）でおこないます。
- ⑥ 強制ではありませんが、オーディションの前に、プリドノフ先生ご夫妻のどちらかのレッスンを受けて、的確なアドバイスをいただいているのがよいと思います。
- ただし、合否は当日の演奏のみで決まりますので、「先生ご夫妻のレッスンを受けなければ合格しない」などということはありません。

### ◆年間スケジュールをお配りしています

今年の「ピアノ発表会」は、7月28日（木）・29日（金）・30日（土）、31日（日）の4日間です。例年よりも、少しはやい日程ですので、ご注意ください。

場所は、「かつしかシンフォニーヒルズ・アイリスホール」です。一昨年の「ピアノ発表会」でも利用しましたが、音響の良さと定評のあるホールです。希望通りのホールをおさえることができました。

まだ新しい年度がスタートしたばかりですが、発表会に向けて、始動する時期にもなっています。この夏も、生徒さん全員が大きな舞台を経て、大きく飛躍するよう、スタッフ一同、全力で指導にあたらせていただきます。

「ピアノ発表会」のくわしいご案内は、追ってお配りいたします。ご不明の点は、本部までお気軽にご質問ください【本部：03-5966-7711（担当・谷口）】。

なお、2016年度の年間スケジュール表をお配りしておりますので、その他のイベント日程に関しましては、スケジュール表でご確認ください。

### ◆教室のスタッフ有志による「おんがくかい」が開かれます

6月5日（日）、「ひびきホール」で、教室の有志の先生たちによる「おんがくかい」

が開かれます。

演奏予定の先生方は、加藤裕子先生・北村真紀子先生・鈴木ますみ先生・土屋絵美莉先生・夏目かおる先生・山本奈美先生・渡邊麻里先生です。

今回が4回目の開催になる「おんがくかい」。小さなお子さまも参加し、ともに楽しめる会という趣旨で計画しています。

くわしくは、教室内の掲示と「とらいあんぐる5月号」でお知らせする予定です。ぜひ皆さま、ご予約をあけておいてください。



### ◆フェイスブックをはじめました

遅ればせながら、一音会もフェイスブックをはじめました。今後、イベントのお知らせ等、順次、アップしていく予定です。生徒さんやご家族の皆さまに便利に活用していただくことが、主目的です。もしよろしければ、ごらんください。

<https://www.facebook.com/一音会ミュージックスクール-1022986827747436/>

### ◆お月謝の引き落としについて

お月謝は、通常、前月末に引き落としさせていただいていますが、4月27日（水）（5月分）の引き落とし時に金額調整がどうしても間に合いません。

したがって、例年お願いしておりますように、4月分、5月分のお月謝は、いったん3月までの額で、引き落としさせていただきます。

5月以降、なるべく早く、新年度からのお月謝との過不足分の精算をさせていただきたいと思います。どうかご了承ください。

## ◆たくさんのサクラが咲きました

今年も、受験生が、難関音楽大学、音楽高校の受験を突破されました。おめでとうございます。

どの方も、お小さい頃から、一音会に通って来てくださった方ばかりです。長い間のご努力が実ったことを、本当に嬉しく思っています。そして、合格までの日々、お力になれたことを、光榮に思っています。

大きく羽ばたいてください。心からのエールをおくります。

国立音楽大学	(幼児音楽教育専攻)	1名
東京音楽大学	(声楽演奏家コース)	1名
桐朋学園大学音楽学部	(ピアノ専攻)	1名
尚美学園大学	(舞台表現学科)	1名
昭和音楽大学	(ピアノコース)	1名
東京音楽大学附属高校	(ピアノ演奏家コース)	1名
武蔵野音楽大学附属高校	(ピアノ専攻)	1名



\*\*\*\*\*

スクールの生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：[1000@ichionkai.co.jp](mailto:1000@ichionkai.co.jp)      電話：03-3954-9999

- \* お電話での質問時間は、毎週月曜日の午後7時～9時です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。(今年度より、月曜日の夜に行なっております。よろしく願いいたします)
- \* ご質問は、お一人でも多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。